

終活事典123

42

子の願い

親にとって子どもはいいくつになってもかわいもの。子どもに迷惑を掛けたくないがゆえに、何でも自分でやろうとしたり、子どもをサポートし

自分のこと伝え頼ろう

たりしようとするのも親心です。

そして、子どもはいつまでも親に元気でいてほしい、なるべく自分のことは自分でやってほしいと思っ

ています。が、親が年を重ねると心配事も出てきます。病気や介護が必要になった時の費用は？ 万が一に備えて、葬儀やお墓の準備はしているのだろうか？ どこに何があるのか分かるようになってい

るのだろうか？ 家や財産は誰に管理してもらおうつもりなのか？ いざという時、誰を頼ろうとしているのか？ などなど、親のことは分からないことだらけです。

「エンディングノート

を親にプレゼントしたいのですが、縁起でもない「怒られそう」という相談を受けました。死ぬのを待っているようだと、と思われそうで言い出しづ

らいようです。子どもには、少しでも親に楽しませたい、との思いがあります。子どもは親のことが大切だからこそ、さまざまなことを知り

りたいと思っ



「老いては子に従え」という格言を、ちよつとだけ頭に思い浮かべてみませんか？
(終活アドバイザー・廣木智代)
終活の悩みや相談を募集します。お寄せいただいた中から数件、紙面で回答します。郵便番号、住所、氏名(匿名可)、年齢、電話番号を明記し、〒320-8686、下野新聞社くらし文化部「終活事典」係へ。メール(platina@shimotsu-ke.co.jp)でも受け付けます。下野新聞社くらし文化部0288・6255・1101。